

## 【熊本県賞】

### 水の機嫌は私たちしだい

熊本県

氷川町及び八代市中学校組合氷川中学校

一年 小田 倅輝

「さらさら、ちよろちよろ、ぼちゃん、ちゃぶん」水の機嫌は良いよ  
うだ。透き通る水を見ていると、自分の機嫌も自然と良い。

私たちが豊かに生活を送ることができるのは、水のおかげである。ま  
た、外を歩いていると川や田んぼでも水が張られている。水はにごつて  
いない。きれいな水で生き物の観察ができる。目に直ぐ入ってくる水は、  
それだけ私たちにとって身近な存在なのである。切っては切れない関係  
だと感じている。しかし、水は常に「機嫌ではいてくれない。

人間が水を怒らせるきっかけを作ってしまうことで、機嫌をそこない  
ストレスを与えてしまっている。そして、水は怒りを爆発させたときに、  
水害などの災害を引き起こしてきている。近年の日本は、水害だらけと  
なった。私の住む八代でも水害が起こってしまった。きっと水は、  
災害などで悲しみを表現しているのだと私は思った。

今まで小さな川や大きくて広い川を見てきた中で、川にゴミが落ちて  
いない川に出会ったことがない。海も同様である。海に漂流していた物  
には、プラスチックやガラス、よく分からないものもあった。それを見  
た時に、

「何これ？」  
と、その度に家族に尋ねてしまう。よく分からない物の中には、外国製  
の物もあった。

今の日本の水は大丈夫だろうか。昔に比べると水がにごって汚れてい  
るらしい。そして、湧き水が豊富な熊本の水でさえも湧き水の量がとて  
も減っているか、枯かっているらしい。さらに、私が心配をしている  
ことは、国が発展することである。豊かな暮らしと引き替えに何かしら  
の代償が出てくるのではないかと心配をしている。どちらかと言うと恐れ

ている。もしかすると数十年後には、水がどうにかなってしまい、水が  
怒りを爆発させて人間では抑えきれない水害がもつと起こるのかもしれ  
ない。

人や動物に感情があるように、実は水も感情をもっているのかもしれ  
ない。人は、嫌なことがあると涙を流すように、水の涙は洪水などで表  
現しているような気がする。

「人に嫌なことをしてはいけません。」と言うように、水にも「水が嫌だ  
と思うことをやってはいけません。」と同じように言うべきなのだと思う。  
自分かつてな行動は自然を破壊し、水を汚していく。一人の軽い気持ち  
が世界中の人たちを困らせてしまう。そのような人に私はなりたくない。

「水のために、他の人のために」と考えて生活をしてみることで、自  
然と水を大切にできるはずである。

ご機嫌な水を毎日私は見ていたい。